

TEAMさくらまち

自ら学び 自ら考え 自ら行う

令和7年9月18日

長崎市立桜町小学校 校長 片岡 勝志



修学旅行

9月11日・12日、6年生が待ちに待った修学旅行へ出発しました。行き先は、雄大な自然と温かい人々に包まれた熊本・阿蘇。天気にも恵まれ、子供たちはたくさんの宝物を見つけて帰ってきました。(画像提供；タシロフォートスタジオ)

<1日目>阿蘇の自然や人々と触れ合う

1 阿蘇ミルク牧場

長崎から休憩を入れ約3時間半のバスの旅を経て着いた最初の訪問地。ここは昼食会場、自然食バイキング。



2 あそ望の郷くぎの

南阿蘇村にある道の駅。物産販売所や食事処、ドッグランなどがあり、阿蘇五岳の雄大な眺めも楽しめる場所。「あそもんツーリズム(阿蘇の方々と、阿蘇でしかできない体験活動)」の出発地点。

① 自然案内(阿蘇ビジターセンター)

五感を活用した野草園散策。阿蘇の自然植物を観察し、その生き方などを学びました。また、アリ地獄で幼虫を探してみました。

② 草木染(草木染工房)

草木染で世界に一つだけの作品づくり。布を染める工程に夢中になり、それぞれが個性豊かな記念品を作り上げました。

③ あか牛の話 そば打ち体験(あそ望の郷くぎの)

あか牛の話やあか牛の試食、そば打ち体験などをしました。芝生や湧き水などゆっくり自然を楽しみました。

④ 手織り(手作り工房 福の里)

簡単に操作できる織機「花風雅」で、日本の伝統文化を体験しました。コースターを織って楽しみました。

⑤ 養蜂園(阿蘇みつばち牧場 杉養蜂園)

ミツバチの世界をのぞいてみよう。蜜ろうを使ってキャンドル作りに挑戦しました。いろいろな蜜蜂ジュースやソフトクリームなどを試飲、試食しました。

⑥ 絵本美術館(葉祥明阿蘇美術館)

幸運の青いハチと出会う。館長さんからのお話に耳を傾け、幸運を運ぶという「ブルービー」のモール作りに夢中になりました。



3 ブラザホテル(阿蘇市内牧)



<2日目>阿蘇の大地で心と体を動かす

1 エルパティオ牧場

馬と心を通わせるエルパティオ牧場。馬の生態を学び、大きな馬の背中に乗る体験をしました。最

初は緊張していた子供たちも、馬の温かさに触れ、笑顔があふれました。



2 トロッコ列車（南阿蘇鉄道）

トロッコ列車の旅は感動の連続。トンネルを抜けた先に広がるのは、息をのむほど美しいカルデラの大パノラマ。子供たちは歓声を上げながら、阿蘇の大自然を五感で感じていました。

3 阿蘇ファームランド 昼食会場。バイキング。

雄大な阿蘇の自然に触れたり、南阿蘇の皆さんと触れ合い、阿蘇でしかできない貴重な体験をさせていただいたりして、多くの事を感じたり、仲間とのかけがえのない思い出をつくったりすることができました。また、友達とお土産を買ったり、お風呂に入ったり、寝食を共にしたりといったホテルで過ごした時間も楽しい思い出となりました。旅行後の感想の一部を紹介します。

この修学旅行で協力することの大切さ、自分で考える力がついたと思います。例えば部屋の布団の準備と片づけをみんな協力しながらやったので、一人一人の負担を減らせたと思います。2日目の昼ご飯の時には決められた時間の中でお土産まで買わないといけなかったのですが、時間があまりなかったけど自分で時間配分を考え、集合の3分前ぐらいにはバスに着くことができたので、これからもこの力を使えるよう頑張りたいです。部屋で寝る前には、同じ部屋の人たちと普段聞かないことを聞き、更に仲良くなったと思います。修学旅行全体でバスガイドの人、運転手、ホテルの人、牧場の人、あそもんツーリズムの人など、たくさんの方にお世話になって自分ひとりで生きているわけじゃないと実感したので、これからも周りの人に感謝を忘れないようにしたいです。

僕はこの修学旅行の2日間、とても良い思い出になりました。みんなと一緒にホテルに泊まったり、ご飯を食べたり、馬に乗ったり、トロッコ列車に乗ったりなど、もう二度とできないような体験をたくさんすることができました。学校最後の一大行事なので楽しむことを優先していましたが、お世話になる方、なった方に感謝の気持ちを持ったり、その時その時で大切なことは何かよく考えてから行動することなど、修学旅行で改めて学ぶことがたくさんありました。また、修学旅行での一番の思い出はあそもんツーリズムです。他のものも本当に楽しかったですが、特に印象に残るものでした。お世話をしてくださった方もとても優しく、牛についてのクイズなど、みんなで盛り上がって、とても楽しかったです。そば打ちでも一つ一つの工程を丁寧にしたり、みんなと協力してとてもおいしいものにできました。ホテルの皆さん、バスガイドの皆さん、トロッコ列車の皆さん、カウボーイの皆さん、バイキング関係の皆さん、そして先生方には、とてもお世話になりました。今回お世話になった方々に感謝して、修学旅行で学びたかった、学んだメリハリをつけて物事をこなすことを今後の学校生活や行事に活かしていきたいです。

全体的にこの2日間は、友達とルールを守りながらも楽しむことができたと思います。そして生活班、活動班の友達をはじめ、先生方、あそもんツーリズムでお世話になった方々、ホテルの方々、添乗員さん、バスのガイドさん、運転手さんたちに気持ちのよいあいさつができました。他にも1日目のあそもんツーリズムの友達と協力して行う作業、ホテルでの宿泊、2日目のエルパティオ牧場など、様々な体験をさせていただきました。その中で私は友達と過ごすことの楽しさはもちろん、阿蘇の自然の偉大さ、大きさ、きれいさを味わうことができました。今のこのメンバーで旅行に行くことはもうないんじゃないかなと思います。小学校生活も終わりに向かっている中で、こんなに楽しくいい経験になった1泊2日を過ごせて本当に良かったなと思いました。最後に、これから2学期には小体会や桜っ子くんち、3学期には冬のオリンピックや卒業式、そして、中学入試も待ち構えています。楽しむときには楽しんで、残りの時間を過ごしていきたいです。

2日間の旅を通して、子供たちは、雄大な自然に触れ、阿蘇の温かい人々と交流することで、多くのことを感じ、学びました。友達と力を合わせ、支え合いながら過ごした時間は、かけがえのない宝物となったことでしょう。この修学旅行で得た学びと絆を胸に、6年生はさらなる成長を見せてくれると確信しています。

最後に、今回の修学旅行を支えてくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。子供たちに温かく声をかけてくださった阿蘇の皆さん、安全な旅を支えてくださったバス会社の皆様、そして何より、体調管理や準備にご尽力いただいた保護者の皆様のおかげで、充実の2日間を過ごすことができました。ありがとうございました。